

## 第11回 建設産業戦略会議

### 議事概要

日 時：平成23年6月10日（金）10：00～12：00

場 所：中央合同庁舎3号館 8階国際会議室

○ とりまとめ案について審議を行い、委員から以下のような発言があった。

（地域建設企業の災害対応力について）

- ・ 地域建設企業は東日本大震災の応急復旧工事等において大きな役割を果たしているが、対応状況については今後、更なる検証を行うことが必要。
- ・ 建設企業において、今回のように自らも被災するような大規模災害への対応の仕方も考えておくことが必要。

（保険未加入企業の排除及び重層下請構造の是正について）

- ・ 現在の重層下請構造は関係法令が遵守されていないことも要因。
- ・ 元請企業、下請企業に対し保険加入の徹底を働きかけるだけでなく、民間工事も含め、発注者が負担する工事価格に含まれる経費として適正に考慮するよう示すべき。
- ・ 保険未加入企業の排除は、不当なコスト削減のための外注を抑止する効果があることから、重層下請構造の是正にも一定の効果がある。

（技術者制度の見直しについて）

- ・ 工事内容の変化や関連制度の改正等を踏まえ幅広く検討すべき。

（入札・契約制度改革について）

- ・ 段階選抜方式については二段階に限る必要はない。
- ・ 特に民間において、設計施工一括やCM等、発注方式が多様化している。すでに民間で動き始めているが、多様な契約方式の研究開発が必要。
- ・ 今回の震災の復旧・復興工事において、CMの活用が効果的な場合があるのではないか。

（海外展開支援について）

- ・ 海外展開については、契約・リスク管理についての経営層の意識改革や、留学生をはじめ海外の人材の受入れ・育成とその後の活用の推進が重要。

#### 【今後の予定】

○ 次回は6月23日（木）に開催し、引き続き、とりまとめに向けた討議を行うこととなった。